

令和2年

建設文教委員会

9月16日

豊明市議会

建設文教委員会会議録

令和2年9月16日

午前10時00分 開会

午前11時20分 閉会

1. 出席委員

委員長	ふじえ 真理子	副委員長	青木 亮
委員	堀内 ちほ	委員	ごとう 学
委員	鵜飼 貞雄	委員	月岡 修一
委員	近藤 善人		
議長	毛 受明 宏		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	鈴木 美智雄	議事課長	塚谷 友昭
議事担当係長	寺島 慎二	議事課主査	荻 正幸

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	土屋 正典
教育長	伏屋 一幸	参事	小森 賢一
経済建設部長	宇佐見 恭裕	教育部長	小串 真美
農業政策課長	青木 由美枝	土木課長	星子 恭士
学校教育課長	高木 安司	農業政策課長補佐	加藤 直美
学校教育課長補佐	近藤 貴洋		

5. 傍聴議員

服部 龍一	いとう ひろし	中村 めぐみ	林 ゆきひろ
三浦 桂司	郷右近 修	清水 義昭	宮本 英彦
一色 美智子	近藤 郁子		

6. 傍聴者

一般傍聴者 1名

午前10時開会

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） おはようございます。定刻に御参集いただきありがとうございます。

ただいまより建設文教委員会を開催いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） おはようございます。

本日の建設文教委員会に付託されました案件は2つの議案でございます。慎重なる審査をいただきますようよろしくお願いいたします。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ありがとうございます。

続いて、議長より挨拶をお願いします。

○議長（毛受明宏議員） おはようございます。

本日の建設文教委員会は、先ほど市長が言われた2議案と請願の1件になりますので、慎重審査よろしくお願いいたします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

ここでお諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき願います。

（市長退席をなす）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了したときも、明確に意思表示をされるようお願いいたします。

初めに、議案第82号 令和2年度豊明市一般会計補正予算（第12号）のうち、本委員会

所管部分についてを議題といたします。

本案件につきまして、理事者より簡潔に説明を求めます。

青木農業政策課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） それでは、議案第82号 令和2年度豊明市一般会計補正予算書（第12号）のうち、農業政策課所管分について御説明いたします。

歳出の説明をいたしますので、補正予算書18ページ、19ページをお開きください。

中段、6款1項2目 農業総務費の3 農業総務事務事業を216万2,000円増額するものです。新型コロナウイルスの影響が長期化していますので、継続的な支援策としてお米で子どもサポート事業の2回目を実施するための費用です。

その下、5目 農地費の右側説明欄、土地改良総合整備事業返還金429万2,000円は、阿野町昭和地内における開発行為により土地改良総合整備事業で整備した排水路用地の用途廃止に伴う国、県への補助金返還金を計上しております。

続きまして、歳入の説明をいたしますので、補正予算書10ページ、11ページをお開きください。

最上段、20款5項4目 雑入の右側説明欄、土地改良総合整備事業返還金収入591万9,000円は、先ほど歳出で説明しました排水路用地の用途廃止に伴う国、県への補助金返還金分に、市の負担金を加えた額を開発事業者から納めていただくものであります。

以上で説明を終わります。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 星子土木課長。

○土木課長（星子恭士君） 議案第82号、一般会計補正予算（第12号）のうち、土木課所管分について御説明します。

補正予算書20、21ページをお願いします。

上段、8款 土木費、3項 河川費、2目 河川維持費のマイナス500万円は、河川維持修繕事業が起債対象となるため財源を振り替えるものです。

以上で説明を終わります。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 高木学校教育課長。

○学校教育課長（高木安司君） それでは、学校教育課所管分について、歳出より説明しますので、20ページ、21ページを御覧ください。

最下段、10款1項2目 事務局費は1億5,537万8,000円の増額です。これは、主に今年度購入予定のタブレットの設定料と、それを入れるソフトの費用及び保守費用です。

22ページ、23ページを御覧ください。

最上段、学校管理費1,846万8,000円の増額は、主に感染症拡大予防のため、除菌用アル

コール等に対する消耗品の増額によるものです。その下段、中学校費のうち、学校管理費931万9,000円の増額は、これも主に感染症拡大防止のための消耗品費の増額によるものです。

24ページ、25ページを御覧ください。

学校給食費866万5,000円の増額は、主に経年劣化が激しい昇降式消毒保管庫等を買換えるための費用です。

次に、歳入について説明しますので、6ページ、7ページを御覧ください。

14款2項7目 教育費国庫補助金656万8,000円の増額は、国が進めますGIGAスクール構想に沿った費用に対する補助です。

8ページ、9ページを御覧ください。

17款 寄附金のうち教育費寄附金50万円は、市内金融機関様からデジタル教育に使っていただきたいというために頂いた寄附です。そのため、23ページに戻っていただきまして、上段ですが、新設校開設事業がございますので、その50万円はここで財源振替させていただきます。

以上で説明を終わります。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。質疑のある方はページ数を示してからお願いします。

質疑のある方は挙手を願います。

近藤善人委員。

○近藤善人委員 19ページの土地改良総合整備事業の先ほどの説明ですと、雑入のほうで591万9,000円で、確認なんですけども、これ、市負担分と業者より納入されたということだったんですけど、それで、返還するほうは429万2,000円と、これ、160万円の差額の説明をお願いいたします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） こちらにつきましては、歳入については、こちらの土地開発事業者が国と県と市と全額土地取得のために負担をしていますので、それを全額納入をするために設けているのが雑入のほうになります。実際返還するのは、そのうち市の負担分は除きますので、差額分、入と出の差額については市の負担分ということになります。国と県に返還する分を歳出のほうで計上しております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今のところで、これは土地改良をやった田んぼとか水路とかを埋め立てて倉庫ができるという、状況としてはそういうことかということの確認と、それから、水路を廃止すると、これ、水が流れていけなくなっちゃうんで、水路の付け替えとかそういうものは生じてこないのかどうなのか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） まず、開発行為を行うものですから、その地域の中に水路がありますので、その分については開発事業者の用地として使用されることになりまますので埋め立てられるようなふうにはなりません。

その後、排水をどうするのかということなんですが、今回の返還につきましては、用地を、水路の用地を取得するのに補助がされているものですから、そちらのほうについては、農業用の排水路自体は、周りが開発が進んでいるものですから、その用途としてはもう用をなさないというようなことになるものですから、補助金としては返還をするということになります。雨水などの排水は必要となるもの、排水路は必要となるものですから、それについては別で付け替えをするというようなことで今協議がされている状況です。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 その付け替えというのは予算に上がってきていないので、それは業者責任でやるということですか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 委員のおっしゃるとおりです。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

月岡委員。

○月岡修一委員 23ページと25ページに載っています小学校、中学校……。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） マイクを近づけてください。

○月岡修一委員 失礼しました。

23ページ、25ページに載っております小学校、中学校、そして、これは学校給食関係のPCBの処理委託ですけども、どこの何にどのようにして処理費として計上されたのか、ちょっと説明を求めたいと思います。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） まず、小学校は去年入札額がうまくいなくて繰り越しさせていただきましたので、それを今保管容器に入れておるんですけど、それを持ち越した形で、その保管容器もやっぱり汚染されていますので処理せなあかんくなりまして、今回この小学校のほうを上げさせていただきました。中学校につきましては、まだ去年度中は工事中でしたので、それが出てきたので、今の段階でキュービクルの関係ですね、あれを今保管容器で入れさせていただいておりますので、それを処理させていただく費用です。

給食センターにつきましては、高濃度については調査が終わっておったんですが、低濃度はまだ期限があったものですから、やってなかったものですから、低濃度の調査を去年やらせていただきました。その中で蛍光灯の中の安定器に低濃度がございます、今それを保管させていただいておりますので、それを処理させていただきます。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 ひょっとしまして小中学校で照明器具の、今お話出ましたように、トランス、処分が来年度で終了するのかな、それ以降はもう処分できなくなりますので、もう古い器具はついてないでしょうね。そういう問題のある蛍光灯のトランス関係は全部処理済みでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 調査、全部しております。今のところ、これで終わりの予定でございます。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 21ページの一番下の電算関係の委託料1億5,000万何がしですけども、ちょっとよく分からなかったもので、これは5,380台のタブレットに対して設定とかソフトを入れたりとか、そういったようなことをするということと全体の保守だというふうに考えてよろしいでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） そのとおりでございます。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 ということは、一台一台にいろんな、いろんなといいますか、手を加

えていく、作業していくわけですがけれども、その作業の内容をちょっと具体的に、どういうことをやるのかということ、ちょっと分かるように御説明をお願いします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） まず、その5,300台ほどのタブレットが納入されましたら、まず、当然機器を搬入、受け入れまして開封をします。その後、セットアップするためにドメインをまず取得しまして、その後にアカウントを一台一台設定してきます。その中でまた事業用の支援ソフトをそこに入れて、最終的には、各クラスに必要な台数を収納する箱にしまっていくという作業までが入っております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 関連で。

近藤善人委員。

○近藤善人委員 後からの84号とちょっと関係するかしらないかお尋ねします。

このフューチャーインは設定代行とかいろいろやっていると思いますけども、この電算関係委託料はフューチャーインでやるということではなくて、またこれから入札とかをかけてやるということでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今、フューチャーインのほうは機器補修ですとかサーバーの関係も保守で入っております。それで、今回これ、設定と絡むところはフューチャーインが随意契約をしないとなかなか難しいかなと思うんですけど、支援ソフトやなんかにについては入札する予定でございます。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 先ほどの作業をされるということですがけれども、これ、実際にこれだけの作業をすると、1台当たりどのくらいの時間がかかるんでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 1か月程度と見ております。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） もう一度。

○学校教育課長（高木安司君） 1台ですか。

5,300台で1か月程度を見ております。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 作業内容が分かっているわけですので、実際に業者に1台デモやらせて、それで時間を計るとか、そういったような確認はされていますでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 5,300台のかかる時間ということで見積りを取っておりますので、そういったことはやっておりません。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 5,300台で何か月ということだと、1台当たりがどのくらいかかるのかということが分からないし、そうなると、その金額が適正かどうかということのその判断といたしますか、確認もできないと思うんですけども、トータルで幾らで積算の確認もせずに、この額で計上をされたということでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 業者がどれぐらい時間かかるというのは、その業者によって技術者の数によっても違ってくるとお思いますので、この業務に対してどれぐらいかかるのかというような見積りを取っておりますので、その時間単価までを出すということまではやっておりません。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 作業内容が決まっているわけだし、入れる機種も決まっているわけなので、業者を呼んでデモで実際にやらせるということが不可能でしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） アカウントを取るとかそういったことが、この業者だけではなくて、今回クロームブックを使うんですけど、そういった環境を、クローム側も今、どう言ったらいいんですかね、クロームに限らないんですけど、全国でアカウントを受け付けていますので、その場ですぐ取れるというものでもないものですから、そういったことはちょっと、デモでやるということは難しいと思います。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 実際にはアカウントを取るというのは、それはデモでは難しいかと思いますが、アカウント1つ取るのにどのくらいかかるかということは想定がつくと思うんで、そういうできないことは一部あるにしても、全体としてデモでやってもらって時間を計って、このくらいの時間のかかる作業ならこの単価、そして、5,380台だと総額でこのくらいが適正かという、そういうチェックというのはできたんじゃないんですか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今言われておるようなことは、何かものをそうやって、例えば作業を一定の時期にやるというので分かりやすいのでしたらいいんですが、今回はアカウントを取ったりするというと、混み状況によって、今取ると2か月後に取ると全然変わってくるわけなんです。そういった関係で、今の状態で積算するのと、これ、納入が今1月末を予定しておるんですけど、その時期との時間とやっぱり違ってくると思いますので、今やって、デモやって、その時間が通用するかということとは言えないと思いますので、今だとデモができませんので、今回そういうことはやっていません。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 関連して伺います。

ちょっと素人っぽい聞き方なんですけど、これを1億5,000万、これを単純に5,380台で割ると大体2万7,000円ぐらいになってくると思うんですけど、1台当たりが。それは市場から見て適正な価格だというふうに判断しているんでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 入札前ですので、あまり詳しい設計内容については言えないんですが、大きなものは、先ほどからちょっと御説明しております事業をやるための支援ソフトですね、それが6,000万ぐらい、そのうち。あと、セキュリティーをかけないかんもんですから、そういったものが今4,000万ぐらいで、初期設定が5,000万ぐらいというふうに考えております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 議案84号のほうでお聞きしたほうがいいのかもしいないんですけど、各市町の教育委員会で選定されますこの今回のクロームブックにされた理由というのを教

えていただけますか。84かな。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 84のほうでお願いします。

ほかにございませんか。

近藤委員。

○近藤善人委員 電算関係委託料の下のG I G Aスクールサポーター400万についてお願いいたします。

これ、追加分ということなんですけども、全部で何名のサポーターがいるかということと、あと、これは2週間に1回で今年のみということだったんですけども、全てのそのサポーターさんが対応すると、今年何回の講習というか、それがあるか、分かればお願いいたします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 講習の回数と、何名か。

○近藤善人委員 2週間に1回ということだったので、講習の回数と全部の人数ですね。サポーターの人数。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 少し整理させて説明させていただきたいんですが、通常、G I G Aスクールサポーターと言われとる方を2名ほど、年間月2回お願いしております。今回というか、6月補正で出させていただいたのは、仕様、マニュアルですとかI C T環境整備の設計、今から進めていきますので、そういった環境整備の設計について、計画を一緒に練っていただける方をお願いしました。その人の勤務というのは、ほとんど市役所と事務所とでやっております。

今回上げさせていただいたのは、その仕様、マニュアルの作成には関わってもらうんですけど、学校でこれから下ろしていったときの技術支援ですとか使用方法の周知のためで、この人は一応1人分予定しております。どれぐらいかというと、月24日で10月からということになっております。1日7.5時間で考えております。その人たちが、月24日ですので、12校あるもんですから、月2回ぐらいずつ学校に行って説明ができるんじゃないかなというふうに考えております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 近藤委員。

○近藤善人委員 では、その学校に行って教える人の人数は3人ということなんですか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） そういった形になるんですけど、ちょっと色分けが、通常の2名につきましては学校の普通の業務もありますので、そちらの保守というか、お手伝いをさせていただいておるとい形になりますので、今回のタブレットについてはこの方が中心になって動かれるという形で考えております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 近藤委員。

○近藤善人委員 今年のみということなんですけども、それで大丈夫なんでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） ひとまず今年度こうやってお願いしたんですけど、来年度以降、通常のおります支援員さんをちょっと拡充するということも、これ、ちょっとまだ皆さんに新年度予算のほうでお願いせないかんかもしれませんが、そういったことも少し考えながら今ICTの整備計画をつくっておりますので、それに沿ってやっていきたいと思っています。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございますか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今のサポーターの方の作業量ですけども、議案質疑のときに7.5時間、今も言われましたけども7.5時間で、トータルで144日分というような回答がありましたけども、それはそういうことでよろしいんでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） そのとおりでございます。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 23ページをお願いします。

小学校と中学校、またがるんですけども、管理事務事業の中の管理用備品購入費、オゾン脱臭機の購入だということを伺っておりますが、これの仕様など、もし分かったら教えてください。あと台数ですね。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 台数は各校1台ずつを考えております。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 仕様、お願いします。

（なかったらいいです。ざっとでいいですよの声あり）

○学校教育課長（高木安司君） 一応ウイルス対策のために、重量が1.1キロぐらいのもので、0.1ppmを発生させるオゾン脱臭機でございます。

大変申し訳ないですけど。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 近藤委員。

○近藤善人委員 各校1台ずつということなんですけども、設置場所と目的というか、あと、支援室に既に設置されているということなんで、何かその効果が分かればお願いいたします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 学校とは相談していく予定でおるんですけど、私どもが今考えておるのは、この機械はコロナにも効くんじゃないかということが、先日、愛知医科大学のほうの新聞記事でも出ておりましたので、一番使うのが、もし発生した場合に生徒がおったところにそれを使って、拭き取りの当然清掃はするんですけど、全体的にかけたいなと考えております。通常は普通のウイルスにも効きますので、インフルエンザがはやったときやなんかはいいかな、効果的かなと思ひまして、私ども、日頃考えておるのは、保健室に常時置いたらどうかなというふうに考えております。

（効果は、今お聞きしました、インフルエンザとかねの声あり）

○学校教育課長（高木安司君） そうです。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 すみません、ちょっと基本的なことなんですけど、このPCBの保管容器というのはどんなものなのか、簡単に説明していただければ。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 大きいもんですとドラム缶になるんですが、小さいやつですとペンキや何かが入っているペール缶みたいですね、そういったもので保管容器は使っております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 19ページをお願いします。

下の表のお米で子どもサポート事業の関係ですけれども、これは前回の説明の人数よりも実績はかなり少ない、割合は90%ということだそうですね。となると、予算が余っているかなと思うんですねけれども、今回の事業で使う予算は幾らなんでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 前回4月補正でお認めいただいて、950人分というようなことで負担金を計上していたんですが、実際チケットの配布ができたのが631人分になります。その当初計上したのから631人分を差し引いた分と、それと今回計上しました209万2,000円を足しまして、900人分の方にチケットが配布できるようにということで負担金のほうは計上いたしました。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 すみません、具体的な金額が。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） まず、4月補正では負担金は342万円計上しております。631人分となりますと、227万1,600円が631人分の1回目の負担金の額になります。その差額につきましてはおおよそ114万8,000円が執行残になる見込みになっていますので、その金額と今回の209万2,000円を足した額、それが324万円になります。それで、900人分の負担金の計上ということになる。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 その中に外国人の方はどれくらいみえますか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） まだ900人分の中の外国人というのは出てこないんですが、1回目にチケットを配布できました631人の中の外国人は92人です。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 チケットの印刷とかの費用も、前回と同様にここの中に含まれているという認識でいいですか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） おっしゃるとおりです。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 チケットの印刷とか手数料は、その先ほどの予算の中の幾らを想定しておるんでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 前回もそうなんです、そういった費用も含めて1枚当たりの、お米10キログラムを配布するのに1件当たりは幾らなのかというようなことで、単価で負担金のほうは協定を結んでいますので、全部その中に含まれているものですから、内訳としては、申し訳ないんですが、出てきていません。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 じゃ、1件当たり幾らになるんでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） まだ、今回2回目を配布する米は令和2年産のあいちのかおりというようなことを予定をしているんですが、まだ収穫終わっていないものから、米の価格ですね、令和2年産はまだ決定をしていないということですが、この予算計上をするに当たって、前回予算計上した3,600円は上回らないというふうにJAのほうから聞いておりますので、計上は1件当たりは3,600円ということで計算はしております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 この事業、前回も思ったんですけども、配布される方が、新聞なんかにも児童扶養手当の方だとか、それから就学援助を受けている、要するに、そういう言葉は使っていないですけども、貧困家庭だというようなことが書かれておるわけですよ。それで、それ、もらった方は、その券を持って、私は貧困家庭の者です、米下さいって農協へ行かなきゃいけない。住所、氏名まではそこには書いていないかもしれないですけども、私はかなりプライバシー侵害というか、ことがあって、別に現金で振り込めば済むことだと思うんですが、何で米になるんでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 前回の4月のときにもお答えをしているように、子どもの栄養面を考えてということと、米は保管が利くというようなことで、それでお米を選んでおりますので、それは継続的な支援ということ、今回も同様の形でやることを考えて予算計上させていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 それぞれの家庭で事情があって、中には農家の方もいるかもしれないし、お米でなくてもお金であれば何でも、米にも換えられるし、ほかのものにも換えられるわけですし、それから、券を印刷したりする手数料だとか印刷代だとか、そういう費用もかからないわけですよ。それなのになぜ米になるのかというのは、私はまだよく理解できないんですけど。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 今回やらせていただいているのは、お金を配るということではなくて、何か品物でというようなことで考えて出した案になりますので、その継続的支援ということなので、同じものでということを出させていただいています。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 つまりは前も伺っているんですけども、現金であれば違う目的なものに使われるおそれ、可能性がある。それを回避するために物品での支給というような考えでいいですか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 委員のおっしゃるとおりです。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 生活保護費なんかもそういう問題は全くないわけではないですけども、現金で渡していますよね。何でこれだけが物になるのかというのは、私はよく分からないんですけども。

1点だけ確認したいんですけど、これ、相手先は農協ということで間違いはないですか。米屋さんではないです。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 第1回と同じ農協のほうを予定をしております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 この事業って、市長が子どもたちにお腹いっぱい御飯を食べさせてあげたいという思いから行われたと思うんですけども、前回は5月で引き換えられた方がすごい喜ばれた声も聞いているんですけど、今回は9月となった理由は何があるんですか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 先ほどお話ししたように、今回は令和2年産のお米をお渡しするというので、新米の時期がちょうどこれからということになるものですから、今回9月の補正で上げさせていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 1回目に5月に配られたお米券の交換をされていない方というのはまだいらっしゃいますか。どれぐらいの割合が。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 約1割の方がまだ交換はしていません。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 この交換されていない方への再度の通知などはされますか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 7月中旬に一度通知のほうはさせていただいていますが、今度また第2回目を行うということもあるものですから、近々にもう一度通知のほうはお送りする予定をしております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 近藤委員。

○近藤善人委員 23ページの上段、各小学校営繕工事の内容をお願いいたします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今考えておりますのは、豊明小学校においては、トイレの手すりをつけるということでございます。栄小学校につきましては、U字溝の蓋の修繕

と、これ、ちょっとロッカー室なんですけど、パーティションで仕切りを作ることです。中央小学校につきましては、管理棟のグリルシャッターの修繕でございます。沓掛小学校につきましては、体育館の暗幕の取替えを行います。双峰小学校につきましては正面のカーブミラーを設置します。大宮小学校には職員用靴箱の改修でございます。唐竹小学校につきましては、特別支援クラスの前のトイレの手すりをつけます。三崎小学校につきましては保健室の床修繕でございます、館小につきましては、グリーンサンドを入れて運動場を改修することでございます。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 21ページが一番上の段、河川維持事業で500万の財源振替が行われていますが、この事業、当初予算を見ると維持作業と維持修繕で両方予算が上がっていますが、この事業、維持修繕の767万2,000円の財源ということでよろしいのでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

星子土木課長。

○土木課長（星子恭士君） そのとおりです。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 維持修繕ということは、これは河川のどっかが壊れて、その修繕に使われるということなんですか。それとも、通常の河川管理、通常のといいますか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 施設の修繕もありますし、しゅんせつ工事としての修繕もございます。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 施設の修繕は、それは全体のどのくらいの割合で、どこですか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 今回の500万についてはしゅんせつ工事の出になります。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 財源振替でも元の事業との関連は重要ですので、質問いたします。

起債500万ということですが、充当率は何%ですか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 起債の充当率は100%です。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

近藤委員。

○近藤善人委員 先ほどの小学校営繕工事の館小学校のグリーンサンド入替えてお聞きしたんですけども、これ、この金額の中でできるんでしょうか。全面やるとか、一部分とか。増額。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 少ないところに入れる程度でございます。

以上です。

（全面ではないの声あり）

（そのとおりですの声あり）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） よろしいですか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 先ほどの21ページの上の河川維持事業ですけれども、充当率100%ということは、当初予算760万あっても使うのは500万という、そういうことなんでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 維持修繕費のうち、しゅんせつ工事が500万を予定しておりますので、それに対して100%の起債ということですよ。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 これは、私、今回初めて見たような気がするんですが、今後もこれは毎年やっていくという、その一環で今年度行われるという、そういう解釈でよろしいでしょうか。ほかの河川でもしゅんせつしなきゃいけないところはいっぱいあるので。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 5年間で一応しゅんせつの予定はしておりまして、市内の河川で実施する予定です。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

近藤委員。

○近藤善人委員 25ページの給食センター維持管理事業で、フライヤーは修繕するという事なんですけども、下の備品購入は回転釜と消毒保管庫ということなんですけども、これ、フライヤーのほうの修繕は、購入しない理由というか、修繕してまだ随分使えるということなんででしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 当然、毎年機器につきましては保守をやっておりまして、その中の点検の中で、今言われるように、フライヤーにつきましてはコンベアネットを替えるだけで済むということでしたので、修繕にさせていただきました。下のものにつきましてはもう取替えが不能だということで、今回購入させていただきます。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 近藤委員。

○近藤善人委員 消毒保管庫というのは、今までにもあったやつを交換ということによりよいでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） そのとおりでございます。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 給食センターは統合して建て替える予定ですが、新たに購入する備品などは新しく建設する給食センターに再利用される予定でしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 議案質疑の中でもあったんですが、当然使えることは使えますが、新しい計画を立ててきますので、それにあまりにも拘束されてしまうと、割高な施設になったりとか効率が悪いものになったりしますので、今のところ、日々の給食を出すのに支障があるということで今回は計上させていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今回の回転釜と、それから消毒保管庫ですが、この予算額はどのようにして計上されましたでしょうか。積算の問題です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 業者から見積りを取って出させていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 何業者ですか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 3者です。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 ちなみに、この回転釜は何基分ですか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 1基でございます。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 3者から見積りを取ったということですが、見積りを取って、例えば平均とか最低とか、どのようにその見積りを参考にされたでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今回は最低価格を参考にさせていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

近藤委員。

○近藤善人委員 23ページ一番下、修学旅行事前調査等補助金なんですけども、これ、調査される場所というか、調査先と具体的な調査内容をお願いいたします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） まだ行ってないものですから、学校がまだどこ行くというのは聞いておりませんが、今回これ、計上させていただいたのは、当初、中学校は東京方面へ行く予定でしたんですが、ちょっと行けなくなりましたので、来年行く予定のやつで今回の変更した部分ももう調査が終わっておりますので、改めて今回計上させていただいて、来年の調査地区のための費用でございます。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 同じ23ページのその上のところですね。消耗品費427万6,000円ありますが、これは消毒液と、それから家庭用学習機器という説明だったかと思いますが、その金額の内訳、消毒液が幾らで学習機器が幾らかということを教えてください。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 内訳をお願いします。

答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 学校に配分する消耗品が200万弱でございます。家庭学習用の通信機器、これ、モバイルルーターなんですけど200万円強で、あと学習支援のヘッドセットというのが10万円ぐらいです。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 ルーターは何台で、1台当たり幾らになるんでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 171台で1万2,000円、これ、消費税抜きですが、1万2,000円を想定しております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 議案第82号、一般会計補正予算（第12号）について、ちょっと迷っておりますが、取りあえず、取りあえず賛成の立場で、また本会議で変わるかもしれませんが、取りあえず賛成の立場で討論をしたいと思っております。

2点申し上げたいと思っておりますが、1つはやっぱりお米券の関係ですけれども、どうも農協ありき、お米ありきというようなふうな印象を受けます。先ほど申しましたようにプライベートの問題がありますし、それから、余分なコストをかけてわざわざ米にしなくても、お金でその家庭の必要なものを買っていただくように、米10キロのほうがボリュームがあ

ってアピール力があるかもしれませんが、その辺がどうかなということを感じるのが1つと、それからもう一つは、21ページのG I G Aスクールのタブレットの初期費用の関係ですけれども、1億5,000万という非常に大きい金額です。この金額というのは相当厳密に把握しなければいけないので、業者から見積りが来たからこれで上げましたというようなこと、それから、全体で1億5,000万ですというような井ではなくて、やっぱり1台で実際にデモでやらせて時間を計って、このくらいの時間でこのくらいのレベルの技術者がやるんだったら、これ、ほとんどが人件費だと思いますので、人件費は幾らかというような、そういうチェックをきちんとやっていただきたいというふうに思います。

予算はこれで認めますけれども、随契分についてはそういったことをして交渉をきちんとやる、それから入札分については、その結果を踏まえて予定価格に反映させるという形で、厳格な、市民の貴重な税金ですので、厳格な財政執行に努めていただきたいというふうに思います。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第82号のうち、本委員会所管部分については原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。

よって、議案第82号のうち、本委員会所管部分については、全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第84号 財産の買入れについて（国庫補助事業G I G Aスクール構想学習者用端末）を議題といたします。

本案件につきまして、理事者より簡潔に説明を求めます。

高木学校教育課長。

○学校教育課長（高木安司君） それでは、議案第84号 財産の買入れについて説明いたします。

まず、物品名でございますが、国庫補助事業G I G Aスクール構想学習者用端末、納入場所が豊明市阿野町茶屋浦地内ほか、数量5,380台、買入金額2億4,210万円、買入先、名古屋市千種区内山二丁目6番22号、株式会社フューチャーイン、常務取締役、岩間泰大、契約の方法は随意契約でございます。

この案を提出するのは、各小中学校に学習者用端末を買い入れるため必要があるからです。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 契約の方法が随意契約になっているということは皆様理解しているんで、特にこういうことを聞きません。中身について伺いたいんですけども、買入れ金額を数量で割ると1台当たり4万5,000円。これは端末としての金額なのか、もしくはそれ以外に付随するもの、サービスのなものがあるのか、もし分かったら内容を教えてください。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 4万5,000円は国が示しています補助の上限金額でございます。その4万5,000円に対して、私ども、県で共同調達したんですが、各業者が4万5,000円以内でどういったサービスがつけれるかということが、またその業者の選考の理由になってきます。今回これ、また選んだ理由になるんですが、あくまでも県が選んだものから、私たちは推測なんですけど、選ばれたのは、この業者が出しております製品自体が、ここだけが唯一の日本製でございまして、あとジー・スイートという、またこれはグーグルがやっております学習支援の無償ソフトの、そういった設計の計画を立てていただけるということと、これ、機種がNECのものなものですから、NECの中のクラウドサービスを受けれるということで選ばれたんじゃないかなと考えております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 このNECさんの、出してもいいんですね、もう出ているんで、僕もいろいろと調べたら、GIGAスクールに対して結構真剣に前向きに取り組んでるなというのが見えました。つまりは機種もよかった、なおかつその付随するサービスもよかったという認識でいいんですかね。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） そのとおりでございます。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

近藤委員。

○近藤善人委員 クロームブックということなんですけれども、ちょっと調べていたら、小学校ではタッチパネルをすることが多いのでiPadが何かいいんじゃないかということ、中学校についてはキーボードが向いているということなんか書いてあったんですけども、その辺の検討はなされなかったんでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今回国が示してきたものが、今言われるようにiPadとウィンドウズとクロームブックとあります。それぞれ利点、デメリットもありますので、その中で、今、委員さんが言われたようなiPadはタッチ性というか、使い勝手はいいということは聞いとるんですけど、総合的に判断してクロームブックにさせていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 近藤委員。

○近藤善人委員 総合的というのは詳しく、金額のこともあると思うんですけども。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） クロームブックが優れておると言われとるメリットの部分なんですけど、コストパフォーマンスに優れておってシンプルな構成なため、操作レスポンスが群を抜いているということと、あとOSが自動更新できるということと、故障時の入替えのときに、アカウントがクラウドから下りてきますので、他の端末をすぐ使って操作ができる。あと、堅牢性といって、ゴムラバーで保護されていますので落下に強い。あと、先ほどもちょっと説明が出たんですけども、ジー・スイート・フォー・エデュケーションという教育向けのサービスが無償で提供を受けられますので、そういったことも含めた形で今回クロームブックにさせていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 近藤委員。

○近藤善人委員 分かればでいいんですけども、iPadを例えば同じ台数そろえたら、どれぐらいの金額になるかは出してないでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今回は4万5,000円という国のほうの補助がありますので、iPadも、そこまでは詳しく検討してないので言えないんですけど、4万5,000円で

機種自体は出てきていると思います。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 これは破損とか保管とか盗難対策のセキュリティーなどの対策はどういうふうになっていますか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 各教室、使った後はキャビネット、電源キャビネットに全て収納しますが、収納するやつを固定式にして、鍵がかえる形で管理していこうかと考えております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 じゃ、それは自宅に持ち帰ることはできないということですか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今後、コロナの2波というか3波というか、そういったことがあった場合は、ちょっとそういったことも考えていかないかなと思うんですが、現在の段階ではセキュリティーの関係もありますし、紛失等も出てきますので、今のところ学校で使っていただくということを考えております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 端末が故障した際に早急に入替えというか、対応できるように、その予備の機材とかというのは購入されるんですか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 各学校、そんなにたくさんは入れないんですけど、10台程度予備を置く予定でございます。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 確認ですけれども、県の共同調達でクロームブックを選んだ場合はフューチャーインというふうになっておったのでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） フューチャーインが選ばれました。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 あと、この4万5,000円で国庫補助ぴったりで、市の懐は痛まないわけですが、この機種の世界価格というのは幾らかというのは調べられたのでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） オープン価格なので価格はないんですが、私どももやっぱりこれが適正かどうかというのは気になりますので、パソコンや何かで見たりすれば、六、八万ぐらいの間だったと思います。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 ネットで5万数千円で売りに出てるというのもありますので、5,380台からそろえると、相当な普通でいえば割引になるんじゃないかなと思うんですが、これは4万5,000円って決めたら、県が決めたら、市はその範囲内ということではなくて、4万5,000円で契約しなきゃいけないということなんですか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 県のほうに聞きましたら、今回基準の機種を出すときに、フューチャーインが4万5,000円でこんだけのサービスですということで提示していますので、それを県が採用しましたので、こういった形になっております。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 これ、納品の関係ですけれども、ほかの自治体なんかですと、業者と交渉して、一遍に入れるのはなかなか難しいとしても、順次入れるようにして、先に入っただけのものを例えばモデル校で使って、先行して使って、その経験をほかの学校に生かすとか、あるいは1つの学校の中で特定のクラスが使ってその経験を学校内で生かすとかというような、そういう工夫をしているところがあるんですけれども、うちはそういう検討はされましたでしょうか。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今のところはしていませんが、今、委員が言われるようなことが可能でしたら、もし、今から整備していく中でいろいろ考えていきたいとは考えております。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

近藤委員。

○近藤善人委員 このG I G Aスクール構想は、当初は23年度中に1人1台端末を配備する予定だったと思いますけども、新型コロナウイルスの影響で補正予算が計上され、前倒しで行われることとなりました。G I G Aスクール構想への準備が進む教育現場ですが、実現するには幾つかの課題、解決しなければならない課題も存在します。管理者不足では、限られた担当者だけで各学校のネットワークを継続的に管理し、不具合時に即座に対応することは難しく、各学校にI C Tに精通した先生方が少ないこと、次に、学校側での施策を補助金事業として実施するには所定の期限内に完了させる必要があり、短期間での導入完了が鍵となります。また、情報漏えいなどのセキュリティーリスクから端末やシステムを守ることはもちろん、児童生徒に授業とは関係のないアプリケーションにアクセスさせない仕組みを整えるのもセキュリティー上の課題です。G I G Aスクール構想がI C T教育の発展につなげられるかは、全て教育現場の判断にかかっていると言えるのではないかと思います。学校と教育委員会の御尽力をお願いして採択といたします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 賛成ですね。

○近藤善人委員 賛成ですね。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 県の共同調達にしたことでいい面もあるんですけども、かなり手間取って遅れたというような実情があるみたいなんですけれども、先ほど最後の質問でも申しましたように、業者とできるだけ交渉をして、早く入れられる部分は入れてもらって、それを早く使って、その経験を各学校で生かすという、そういう努力はぜひしていただきたいと思いますので、すみません、最初に言い忘れちゃった、議案第84号の財産の買入れについて、賛成といたします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 議案第84号について、賛成の立場で討論いたします。

これ、契約が終わりまして、その後、来年の春の運用に向けていろいろとスケジュールがあると思いますが、そこまでにに向けて一つも漏れることもなく順調に進めていただければ、子どもたちの学習環境も変わっていくと思いますので、今後に期待しております。よ

ろしくお願いします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 議案第84号に賛成の討論をさせていただきます。

教育のICT化、GIGAスクール構想というのは、コロナ禍でも分かったように今や国策となっております。世界でも世の中の流れとなりつつありますので、教育の格差などが出ないような配慮を求めて、よろしくお願いします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） よろしいですか。

（はいの声あり）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第84号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。

よって、議案第84号は全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

休憩に入る前に、これより請願の審査に入りますが、請願と関係のない職員については自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 御異議ありませんので、請願と関係のない職員については自席待機といたします。

（関係職員以外退席をなす）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ここで、10分間の休憩に入ります。

午前 11時2分休憩

午前 11時12分再開

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） それでは、休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

それでは、請願第4号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願を議題といたします。

本請願については紹介議員が既に本会議場において趣旨説明をされましたが、補足説明の申出がありましたので説明をお願いいたします。

宮本英彦議員。

○宮本英彦議員 それでは、請願の内容について、補足説明をさせていただきます。

請願の細かい内容は本会議場で提案をさせていただきました。今回、紹介議員という形で私が入っておりますけれど、実はこれには若干経過がございまして、昨年のこの種の請願の取扱いにつきまして、請願の1年の期間の解釈をめぐって若干そごがありまして、その反省の下に今回この請願を紹介議員をつけようということで、より堅いやり方というようなことで、今回、今後どうなるかはちょっと分かりませんが、今年度につきまして私が紹介議員ということで入っておりますので、よろしくお願いします。

請願の内容は、毎年度請願をさせていただいている内容でほぼ同じでございます。少人数学級の定数改善計画の早期策定と、国庫負担を2分の1へ戻しなさいよと、こういう2つの請願です。当然、御案内だと思いますけれど、義務教育ですので、どこの地域に行っても先生の数、あるいは財政基盤はどこの地域に行っても同じでないといけないと基本的には思っております。特に今回のコロナの関係でいくと、今日も議案で出てますけれど、ICTの環境整備、これにつきましても自治体の財政基盤なりでやはり大きな差が出てることが明らかになっております。そういうことも含めて国庫負担の拡充を求めると。それから少人数学級も、その実現に向けて当然国庫負担で先生の数を増やすと、こんな請願でございます。

例年、全会一致で採択いただいておりますので、よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

以上です。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ありがとうございます。

本請願について、当局より状況等で説明できることがあればお願いします。

小串教育部長。

○教育部長（小串真美君） お願いいたします。

本市におきましても、教育環境の改善には常に力を入れて取り組んでいるところでございます。少人数学級については、来年4月に開校する二村台小学校において、市独自で小学校3年生から6年生に35人学級を導入し、全学年において少人数学級を実現させる予定です。そのため、教員の採用も独自で行う必要があります、条例を制定して取り組んでまいり所存です。

請願書にもありましたいじめや不登校対策も含め、今後も子どもたちの健全育成に向けて取り組んでまいります。

以上でございます。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 請願ではありますので、直ちに質疑に入りますが、当局は質疑に対して分かる範囲でお答えいただきたいと思います。

質疑のある方は挙手を願います。

(進行の声あり)

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

近藤委員。

○近藤善人委員 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願に対して、採択の立場で討論いたします。

一人一人の子どもたちへのきめ細かな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、教職員の定数改善計画を策定し早期に実施することが必要です。また、義務教育費国庫負担制度は、国民が等しく義務教育を受ける権利を保障するため、教職員の給与費等を国が負担し、義務教育に対する国としての責務を果たす制度であり、これまで教育の機会均等と教育水準の向上を図る上で大きな役割を果たしてきました。

よって、この請願は採択といたします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 請願第4号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書に、簡単に賛成の立場で討論いたします。

毎年の請願なので、この件に関しては全く異論がありませんけれども、クラス定員が原則40人というのは、OECD加盟国、先進国の中では日本は最下位というふうに言われております。以前に豊明市の友好都市であるオーストラリアのシェパトン市の方が見えたときに話をしておりましたら、シェパトン市ではクラス定員は20人、20人ということで、大変恥ずかしい思いをした記憶があります。国際的に見て桁外れに多いこのクラス定員、これ、今、コロナがはやって少人数学級の必要性も叫ばれておりますけれども、そういったことも含めて、早急に見直す、定員をもっと減らしていくということが必要で、そのために教員増を求めたいというふうに思います。

それから、教育予算全体についても、これも先進国の中では日本は最下位ということで、ですのでこういう問題が起こってくるわけですが、増額して、ほかの先進国並みにぜひしていただきたいという思いで賛成といたします。賛成というか、採択といたします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 請願第4号について、採択の立場で討論いたします。

不登校の子どもを持つ親さんからも相談を受けたことがあるんですけども、豊明市じゃ

ないんですけどね、やはり教員が少ないということで、なかなか行き届いた対応はしていただけなかった、そういった実情も聞いております。そういったものも解消するために、教職員の人事配置、増やしていただいて、今以上にいい環境を整えてもらいたいという思いもございます。

また、義務教育費の国庫負担率、これに関しても、今財政状況厳しい中、豊明市は頑張って教育に関して力を入れていただいていると思いますし、高く評価しております。これはまた2分の1に戻ってくると、もっと違うことにも手厚く教育環境を整えることができるのかなと思っております。

この請願の上のほうにもありますけども、未来を担う子どもたちの明るい未来のために、やはり我々大人がしていかないといけないことってたくさんあると思います。そういった趣旨も十分理解しておりますので、この請願に関しては採択といたします。

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

請願第4号は採択すべきものと決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。

よって、請願第4号は全会一致により採択すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願いますか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（ふじえ真理子議員） ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて建設文教委員会を閉会いたします。

午前11時20分閉会